

自まんののお米

東大村小学校

三年

松本

かみん

わたしのおじいちゃんとおばあちゃんはお米を作っています。いっしょにすんでいるので、どうやってお米ができているのか、作る人が何をしているのを見てきました。わたしは二才ごろから少しずつお手伝いをしています。たねまきをするきかいに、おえはこを人れることを小さい時はしていましたが、小学三年生になつた今では、土やたねや水が

入つた、おじいちゃんはおえはこを畑に広げるとおえはこがでこぼれようになりました。十月になると一か月間いぬかきします。田んぼに行つてコンバインでいぬかきして、かいた米をかんそうきに入れて、次の日の朝早くからもみすり機をします。おじいちゃんや人は夜中に何回もかんそうきにいじょうがないか見に行つたりお父やおじいさんは朝じつごとに行く前に、もみすり機から出てくるお米をぶくぶくがぬして、一ふくろ三十キロあるお米を多

時には百いよいよかかえてはこびます。この
一か月間は家ごとくみんな一人一人が自分で
やることをしたりい手つだったりして、一フ
のチームみたいにみんなでがんばります。お
はあちゃんはいつても、田んぼでまぎやうする
人も家でごはんを作る。たり、そういをする
人もみんな大切な仕事だからと言っています。
だからわたしも自分ができるところを一生けん
めい手つだいます。こいうやうに家ごとくみんな
でがんばって作ったお米は本とうにおいしい
です。わがやのお米はいろいろな人にかっ
てもらったり、しせうびくらす人たちが食べ
たりしていますが、みんなの元気になるかに
なっているとおもうと、もつとがんば
らうとおもいます。わたしもばんきようする
力、スポーツをする力をたくさんもらって
います。一人で多くの人に自まんのお米を食
べてもらえるように、家ごとくみんなが
がんばります。